

平成 27 年度森林・環境基金事業 主な事業の進捗

○里山林整備事業

- ・大雪による人家やライフラインへの倒木被害の恐れが高い里山林の整備など、市町村や森林組合等から当初予算を上回る要望があったため、H26年度基金残金を活用し、9月補正予算で5千万円増額して対応する予定。

区 分		当初計画	要望量
事業量	里山林整備面積	522.67ha	663.24ha
	施設改修	16箇所	17箇所
事業費		208,868千円	258,868千円

○木質バイオマス利用施設導入促進事業

- ・今年度から拡充した「商業施設への導入」に関して、平成27年4月30日付けで、要望調査を実施したところ、当初予算額を上回る要望があったため、要望の少なかった「木の香る快適な教育施設等整備事業（木造化・内装木質化）」の残金を活用して対応する予定。

区分		当初計画	要望量
事業量	ストーブ	41台	60台
	ボイラー	1台	2台
補助予定額	計	35,000千円	59,715千円

○野生生物保護管理事業（ニホンジカ捕獲・市町村職員の育成）

- ・ニホンジカの捕獲目標数および有害鳥獣捕獲等に従事する市町村職員の育成について当初予定を大幅に上回る要望があった。急速に個体数や生息域を拡大するニホンジカの個体数調整や有害鳥獣捕獲を広域的に進めて効果を高めるため、H26年度基金残金を活用し、9月補正予算で3,595万円増額して対応する予定。
- ・国補事業を有効活用して実施する予定の「指定管理鳥獣捕獲等事業（県主体）」については、H27国当初予算からH26国補正予算事業への変更に伴い、国の補助割合が1/2から9/10に変更となったため、9月補正予算で県負担分を1,952万円減額する予定。

事業名	当初計画	要望量
個体数調整捕獲事業 （市町村への補助）	3,100頭 35,200千円	6,000頭 67,150千円
有害鳥獣対策従事者確保事業 （市町村への補助）	5人 2,500千円	13人 6,500千円
指定管理鳥獣捕獲等事業 （県主体）	48,800千円 （うち、環境税24,400千円）	48,800千円 （うち、環境税4,880千円）
森林・環境税活用額 合計	62,100千円	78,530千円

○環境保全モデル林整備事業

・平成25年度選定モデル林（可児市我田の森）

4月に整備が完了し、5月23日から活用開始。同日のオープニングイベントには、地域住民約300名が訪れ、里山散策や棚田での田植えを満喫。今後、プレイヤーを中心に市民の利活用を進める。

・平成27年度選定モデル林（2箇所）

名称	面積	コンセプト	整備内容
土岐市「高山城跡の森」	10.81ha	「歴史」「文化」「自然」に恵まれた地域のシンボル“土岐高山城跡の森”	作業道・歩道の整備、作業小屋の設置、景観的に美しく多様な樹木が存在する広葉樹林の整備。
中津川市「加子母福崎の森」	9.42 ha	里山の文化・歴史を体感できる美しい森林のふるさと“加子母福崎の森”	作業道・歩道の整備、作業小屋の設置、林業史を学ぶための「木馬道」等の設置。

・平成27年度選定モデル林

候補地を3月23日（月）～5月22日（金）にかけて公募したところ、1箇所（揖斐川町）の応募があった。今後、有識者等による現地調査、意見聴取を踏まえて選定。

選定後、地域との協働により整備・活用計画を策定していく。

○森と木と水の環境教育推進事業

- ・全国的に注目の集まる全国育樹祭（10月11日開催）を契機として、「清流の国ぎふ 森のおもちゃ美術館」を開催。

開催日時：平成27年10月9日（金）～11日（日）

開催場所：ぎふ清流文化プラザ 長良川ホール

- ・都市部住民を中心に、乳幼児からお年寄りまで3世代が一緒になって木に触れ親しみ、森づくりへの理解を深める機会とする。
- ・来場者には、森林・環境税に関するアンケート調査、パンフレットの配布を行い、認知度の低い若い女性層へのPRを図る。